



町内小中学校 令和7年度入学式

楽しく充実した学校生活への第一歩



▲叶水小学校新入生自己紹介

4月7日に小国小学校（1年生24人）と小国中学校（1年生46人）で、8日に叶水小中学校（小学1年生2人、中学1年生6人）でそれぞれ入学式が行われました。

小国小学校では児童代表6年川上礼愛^{らいあ}さんから「私たちと一緒に小国小学校を盛り上げていきましょう」と新入生へ向けて歓迎の言葉が送られました。



▲小国小学校新入生初めての教室



▲小国中学校新入生呼名

「小国町くらしを考える会」感謝状贈呈式

長年の活動への感謝の思いをこめて

長年、消費者活動を展開してきた「小国町くらしを考える会」に対する感謝状の贈呈式を4月8日に小国町役場で行いました。

本会は、昭和52年に消費者の権利意識の高まりを背景に設立され、長きにわたり、消費生活意識の醸成のため、時代に合わせた多様な活動に取り組んでこられました。

しかしながら、本年3月13日をもって活動に幕をおろすこととなったため、これまでの活動に敬意を表し、仁科町長から感謝状が贈呈されました。会員のかたは、設立当時の消費生活の状況について思いをはせていました。



交通安全の意識向上へ

荘内銀行が横断旗寄贈・地域交通安全推進協議会委嘱書交付式

4月3日、交通安全横断旗の贈呈式が小国警察署で行われ、荘内銀行長井支店から小国地区交通安全協会に横断旗100本が寄贈されました。

これは春の交通安全県民運動に合わせ、前年度より実施しているもので、寄贈された横断旗は町内の横断歩道等に設置されます。

また、4月4日に同じく小国警察署において、令和7年度地域交通安全推進協議会委嘱書交付式が行われました。任期は2年で、前年度より継続の3名に加え、今年度より伊藤満司さん、舟山真弓さんが新たに委員として委嘱書の交付を受けました。



▲地域交通安全推進協議会委嘱書交付の様子

第32期緑のふるさと協力隊着任

もう1年、小国のために

4月10日、第32期緑のふるさと協力隊に佐々木佑真隊員が着任し、委嘱書の交付を受けました。

佐々木さんは前年度も第31期緑のふるさと協力隊として本町で活動し、2年目の今年度も引き続き南部地区を中心に活動します。

佐々木隊員は「もう1年小国にかかわることができてうれしい。前年度できなかったことを地域のかたと一緒にやりとげたい。」と意気込みを語ってくれました。



町民の新たな憩いの場に

小国高校生との協働によるカラオケ店「カラモ」オープン

小国高校生と小国いきいき街づくり公社が協働して計画、準備を行ったカラオケ店「カラモ」が、4月19日にショッピングセンターアスモにオープンしました。

町内でカラオケ店が営業するのは10年ぶり、活動に意欲を持った小国高校3年生7名が中心となり、店舗の壁紙やタイルの張り替えなどの準備を進めました。町民の新たな憩いの場として、幅広い年齢層の利用が期待されています。

